

日本箱庭療法学会・日本ユング心理学会 合同震災対策ワーキンググループ活動報告

震災以来、まだまだ復旧・復興の道筋は不透明で、ご不安な日々をお過ごしの方も多いかと存じます。当ワーキンググループは、被災地のニーズに応じた心の支援を目指して活動を続けています。これまでのケアする人のケアに焦点を当てたり、学校を拠点としたりした取り組みについて、以下にご報告申し上げます。

1. 被災地での活動

各委員がそれぞれ地区を担当し、被災地で活動しています。

(1) 宮城県仙台市・石巻市：河合委員長，田中委員，宇田川委員

4月より月1回のペースで仙台市・石巻市を訪問しています(4/27・28, 5/18・19, 6/30, 7/13・14, 9/15)。

- 意見交換会の開催：4月と7月の2度、現地の学会員と意見交換会を行いました。
- 教育関係機関の訪問（宮城県教育庁義務教育課，仙台市教育局学校教育相談課，石巻市教育委員会）
- 小中学校の訪問（仙台市立六郷中学校，石巻市立万石浦中学校，渡波小学校，門脇小学校）
- 病院の訪問（石巻赤十字病院）

(2) 宮城県仙台市七郷地区：川原委員

5/30・6/1と9/1に，仙台市七郷地区を訪問しました。

- 小中学校の訪問（仙台市立七郷中学校，七郷小学校）
- 避難所の訪問

(3) 福島県：角野副委員長，岸委員，渡部委員

6/19と7/23・24に，福島県を訪問しました。

- 意見交換会の開催：7月に現地の学会員と意見交換会を行いました。
- 海岸部の視察

これまでの活動を通して、各委員が継続して訪問すること自体が支援のプロセスを生み出していることが実感され、長期的に活動を続けていくことの大切さが感じられました。今後、刻々と移り変わる各地区の状況やニーズに応じて、細やかな配慮に基づいた支援を行っていきたいと考えています。

2. スクールカウンセラー派遣事業

A 小学校との話し合いを進めるなか、定期的かつ継続的なスクールカウンセラー（以下、SC）派遣の要望がありました。文部科学省による県外からの応援 SC 派遣コーディネーターとも協議の末、行政の枠組みからは独立した形で、当ワーキンググループから A 小学校

に SC の直接派遣を行うことになりました。7 月末より週に 1 回、SC としての支援活動が開始されています。

他地域へも、被災地の学校の現実的な状況や要望を把握した上で、SC の直接派遣を行っていく予定です。

3. 研修会における震災対策

川戸委員（研修委員長）を中心に、震災対策の研修会を開催しています。

(1) 日本箱庭療法学会研修会における震災対策への取り組み

2011 年度第 1 回に本箱庭療法学会研修会（7 月 17 日）において、2 つの分科会で震災対策に特化した研修を行いました。それぞれの分科会で、SC やボランティアとして被災地に入った参加者から活発な意見が寄せられ、意義深いディスカッションとなりました。

(2) 被災地における研修会の開催

2011 年 10 月 9 日・10 日に福島市と石巻市において、臨床心理士・教育関係者・医療関係者などを対象に、心の支援者への支援を目的とした研修会『震災と心のケア』を開催します。

➤ 全体講演：『こころを蘇らせるーノースリッジの震災での箱庭療法による取り組みから』
講師 リース・滝・幸子（ロスアンゼルスユング研究所）

➤ 分科会

講師（福島） リース・滝・幸子，豊田園子，岸良範，内山清一

講師（石巻） リース・滝・幸子，川戸圓，河合俊雄，田中康裕（敬称略）

(3) 石巻地区養護教諭部会における研修会講師

2011 年 12 月 7 日、石巻地区の養護教諭部会で心のケアを中心とした研修会が開催され、河合委員長と田中委員が講師を務めます。

4. 基金

当ワーキンググループでは、会員の皆様からの支援金を受けて活動しています。

【一口】5000 円（一口から募金が可能です。一口以上、何口でも。）

三井住友銀行 京都支店（496） 普通 8776954

口座名：箱庭ユング震災対策ワーキンググループ

※ 通信欄に「支援金」と明記ください。

※ 誠に申し訳ございませんが、振込手数料は各自ご負担ください。

河合俊雄

（合同震災対策ワーキンググループ委員長，日本箱庭療法学会常任理事，日本ユング心理学会副会長）